

センター月だより

1月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・声かけ活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	4	0	4	8
声かけ件数	756	210	242	1208
参加者数	66	32	40	138

(指導日誌より抜粋)

多治見地区

- ・駅前啓発活動に多治見工業高校の生徒たちが15人参加してくれた。寒さを吹き飛ばす勢いで、最後の一個まで皆で協力してグッズ配布をしてくれた。(1/9 特14)
- ・児童館で小学生が元気に遊んでいた。通学路や街中では子どもの姿は少なかった。(1/11 池田6)
- ・時間帯をいつもより30分早目にしたところ、下校中の高校生に声かけが出来た。自転車に二人乗りしていた男子高校生を注意したら、直ぐに降りてくれた。(1/14 精華2)
- ・小中学校の下校に合わせ、声かけをした。多くの子が気持ちの良いあいさつを返してくれ、私たちも元気をもらうことが出来た。(1/14 小泉5)
- ・とても寒い日で、高校生たちがパン屋さんや、まなびパーク等の暖かい場所で勉強していた。巡回中、すれ違う人たちの気持ちの良いあいさつで、心はホットに活動できた。(1/14 南姫9)
- ・小中高の生徒、児童ともに明るく元気なあいさつで気持ちが良かった。寒さのせい自転車下校する高校生が少なかった。(1/16 養正1)
- ・根本駅で、高校生に声かけ。駅周辺のお店で、家族と来ていた小学生に声かけをした。根本交流センターでは、迎えが遅れている児童がいて、センターの方が心配されていた。(1/16 根本10)
- ・各通学路に分かれて下校に同行した。寒いのためか、足早に下校。元気に帰る姿から"力"をもらえるような気がした。(1/16 脇之島12)
- ・学校でクラブ活動中の生徒たちに声かけした。頑張ってるんだよと激励した。(1/25 北栄11)

瑞浪地区

- ・冬休みのためか学生はいなかった。バロー中央店裏の19号地下通路に放置自転車が2台あったので、交番に届けた。(1/6 瑞浪B)
- ・交番前の温度計 -9 の中、コートなしの生徒会役員は寒くて声もあまり出ない様でしたが、校長先生は大きな声で、生徒一人一人の様子を伺いながら愛情込めたあいさつを試みえた。3年生は受験も近く、不安になりがちですが、元気な声かけは温かな気持ちになるのではと思います。(1/14 陶E)
- ・駅前で帰宅の迎えを待つ女子高生に、気を付けて帰るよう声をかけた。駅前駐車場にはバサラの練習をしている若者が6名いたので、遅くならないように声かけをした。(1/20 明世H)
- ・駅前で下校中の高校生に、寒く暗くなっているので気を付けて早く帰るよう声をかけた。駅前ロータリー、モニュメント下では9名の女子高生が集まり、踊っていた。(1/21 日吉I)

土岐地区

- ・ 駅ベルマートでは、カウンターの椅子に腰かけてスマホを操作している生徒がいた。注意はしなかったが、混雑時は迷惑かなと思った。ボーリング場とバッティングセンターを巡回し、店の方の話を聞いた。年末年始、特に若者の気になる様子は見られなかったとのことだった。(1/8 特 A)
- ・ 男子中学生が無灯火で自転車に乗っていた。点灯するように注意すると、素直にしたがってくれた。(1/9 駄知 6)
- ・ 紅陵高生が 2 人、三洋堂の前で話をしていた。気を付けて帰るように声をかけた。1 人は自転車だったので、点灯して行くように言うと、「ハイ」と返事してくれた。(1/15 特 B)
- ・ ゲンキーの店長と情報交換。小中学生ともに問題ないとのことだった。(1/9 肥田 7)
- ・ 冬休み中の子どもたちの様子について、2 か所の児童館で情報交流が出来た。(1/10 妻木 3)
- ・ 啓発グッズのマスクを配った。高校生が元気なあいさつを返してくれた。(1/14 土岐津 1)
- ・ パロー土岐店ゲームコーナーでいつも見かける有職少年に声かけ。三洋堂で母親と一緒にの小学生、駅前で帰宅中の高校生に声をかけた。寒さのせい、駅にたむろする姿はなかった(1/14 泉 8)
- ・ 「さようなら」「寒いね」「気をつけて」の声かけに、「さようなら」と頭を下げてくれる子がほとんどで、暖かい気持ちになった。(1/21 鶴里 4)
- ・ 中学生の下校を見届けながら声をかけた。寒さのため、迎えを待つ生徒が多かった。(1/22 曾木 5)
- ・ 陶史台で、自転車の男子小学生 2 名に、ヘルメットをかぶるように指導した。(1/24 下石 2)

センターから

・ 指導員の皆さん、いつも声かけ活動をお努めいただきありがとうございます。指導日誌からは子どもたちへの声かけ、指導や激励されている様子が分かり、感謝しております。

ただ少し気になるのは、一部の班で声かけ人数が 0 の場合があることです。お勤めの方が多いため巡回が遅い時間帯になる郊外の班に見受けられます。そこで一つ提案があります。

そんな場合は、駅前等の子どもたちが居そうな場所を廻っていただくのはどうでしょうか。少しは声かけが出来るのかと思います。場所の移動に時間もかかるので、毎回という訳にはいかないと思いますが、少しでもお願いできればと考えています。

「子どもに会わなくても、巡回するだけで抑止効果はある。」という意見も聞きますが、それでは防犯パトロールと同じです。私たちの役割りは、防犯ではありません。子どもたちの育成支援です。子どもたちとの人間関係をつくるのが大切な第一歩です。そのことをもう一度考えてみたいと思います。よろしく願いいたします。

「あったかい言葉かけ運動」作品



「センターだより No.49」で紹介した「あったかい言葉」は他にもたくさんありますので、ここでも紹介します。

先生が重い荷物を持っていた時、「持ちましようか?」と言ったら、先生が「ありがとう。大丈夫だよ。その気持ちが嬉しいよ。」と言ってもらえました。その近くにいた先生からも「すごいね。」と言ってもらえて、私は嬉しかったです。(池田小 5 年、安藤香奈さん)

頭が痛かった日の下校で、友達が「だいじょうぶ?今日はゆっくり歩いていこう。」と声をかけてくれて、家の近くまでついてきてくれた。私はうれしくなった。今度は私が友だちをうれしく思ってくれるようにする番だ。(根本小 5 年、保母青小衣さん)